



日本聖公会
大阪教区教務局
〒545-0053
大阪市阿倍野区
松崎町2-1-8
TEL 06-6621-2179
FAX 06-6621-3097
発行責任者
教務局長 司祭 原田光雄

〈HP〉 <http://www.nskk.org/osaka/index.htm> 〈e-mail〉 office.osaka@nsk.org



第424号 2012年4月8日発行



「…神よ、あなたはみ子の力ある復活により、…み子にあって万物を新しくしてくださいました。」

私たちの世界は、毛糸（純毛）のセーターのようです。その一目が一人ひとり、皆繋がっています。時折、虫に食われたり、何かにひっかけたりしてほころびが生じ、穴がきます。ひどい時には、ほどけてもつと大きな穴となることもあります。



復活により

— 復活日特祷から

司祭 アンデレ 磯 晴久

東日本大震災と原発事故は、ほころびや穴以上のもの、大きな破れであり、多くの「いのち」が失われ、傷つけられています。

キリスト教には「贖い^{あがな}」という言葉があります。イエスはなぜ苦難を負い、十字架に死なれ、復活されたのかを説明する言葉です。パウロは「イエスは、わたしたちの罪のために死に渡され、わたしたちが義と

されるために復活させられたのです。」（ローマ4:25）と語り、またヨハネは「イエス・キリストがおられます。この方こそ…わたしたちの罪ばかりでなく、全世界の罪を償ういけにえです。」（ヨハネの手紙一2:2）と記しています。わたしたちのために万物の「贖い」として、イエスは苦しみを負い、十字架の上に死に、そして復活されたと聖書は証

スエは私たちの「贖い」となってく
ださいました。

最近「絆^{きずな}」という言葉をよく聞きます。素敵な言葉です。糸に半分の半。人には半分の糸が与えられていて、誰かの半分の糸と誰かの半分の糸が結ばれているという意味です。誰かと誰かの糸が繋がって、ほころびや大きな穴、破れが、ゆっくりかもしれないけれど修復されていくという、人々の希望の言葉となっています。困っている人がいれば助ける、おなかがすいている人がいれば分かち合うという心から、わたしたちのほころびがつくろわれしていきます。わたしたちの希望は、主イエスが苦難と十字架の死を乗り越え、新しいいのち、復活のいのちに生きられたように、わたしたちにも必ず新しいいのちが与えられ、そして万物を新しくしてくださいということにあります。この世界とわたしたちのほころびや破れにしっかりと瞳をそえて、復活日の特祷を唱和しましょう。

言っています。
「贖い」を意味する英語(atonement)は、分解するとat-one-ment。一つでないものを「一つにしてい」過程を意味し、欠けたものが満ち足りたものになっていく過程を表わしています。神と人、人と人、自然と人との亀裂をつなげ、満ち足りたものにするために、この地上のほころびや穴、大きな破れをつくろい修復するために、イ

(いそ はるひさ・石橋聖トマス教会牧師、東豊中聖ミカエル教会および庄内キリスト教会管理牧師)



主と共にあゆむ 19

保育園に天使の微笑みを

真庭 功

総合こども園への荒波が打ち寄せてくる時に聖ミカエル保育園の理事長になったが、○歳児より就学前までの定員45人の小さな園は待機児童が多い世の中で、定員割れで大赤字の憂き目にあった。

こどもたちとよりよい保育を分かち合うために創立時のキリスト教精神を思い、祈りのうちに主事(竹内廣子姉)が与えられた。竹内信義司祭様を園長に総勢22人が力を合

年退職に伴い、希望に満ちた義平雅夫聖職候補生が派遣された。さらに竹内姉を新施設長に迎え、7人の信徒が与えられ感謝している。朝の祈りに1日が始まり、神さまのお話やさんびかを歌

(前頁よりつづく)
私も弱い人間の一人ではありませんが、いつでも謙虚に生き、イエス様の助けと導きによって、福音と一途に向き合い、さまざまな立場に置かれた一人ひとりが祈りと対話によって、豊かに自己を実現できるような世界を目指します。助になることを望みます。私たちが生きる社会の中で

イエス様を証しするために、豊かな交わりの中で、共同体に集まる一人ひとりの心と共におられるイエス様のみ心を分かち合い、今私たちがなすべき具体的な宣教の業を模索し実践するために、聖公会神学院で学び、霊的な糧をしっかりと蓄えてまいります。(なるおか ひろあき・聖公会神学院在学中)

クリスマスチャンの品格



「女性の品格」をはじめ、「の品格」といったタイトルの本が数年前にベストセラーになった。聖公会出版からは昨年「司祭の品格」という本も出版された。品格は品位とか気品と同義語である。クリスマスチャンの品格とは、何なのだろうかと考えてみた。先日、

電車に乗っていた時、数人の女性がある駅から乗って来て、わたしの座っている座席の前に立って話し始めた。聞くとはなしに聞いていると、その話題は一人の同僚のことであった。20〜30分位の間に、驚いたことに、彼女らの話題には何一つ否定的なものがなく、終始肯定的であった。同僚の言動についての賛辞、あの人のようになりたいとの思いを

もつ彼女らの話し声はとても明るく、心地良い、聞いている者を和ませる雰囲気を感じさせた。どんな人たちなのだろうかと思わず顔を見せました。話している雰囲気の中に、口には言い表せない品格を感じた。クリスマスチャンの品格とはひよっとしたら、そのようなものかも知れない。「疲れた者、重荷を負う者はだれでもわたしのものに來なさい。休ませてあげよう。」とおっしゃったイエス・キリストは、聞く者に和らぎと癒しと希望

を与えるような話し方、対応、生き方をいつもさだめていたのではないだろうか。わたしたちが日ごろ、家庭、地域社会、学校、職場、教会などで話す話題は、神に生かされている感謝と喜びにあふれた、聞く者に和らぎと癒しと希望を与えるような品格を備えているだろうか？(主教サムエル大西修)

り入園式・収穫感謝祭・こども祝福式・クリスマスマズ礼拝・卒園式などを守っている。特色保育のリトミックや和太鼓・囲碁やお茶会などの行事にこどもたちの顔は喜びに満ちている。この強みを活かすためにもモンテッソーリ教育を取り入れつつあり、こどもたちの感性を豊かにし、伸びる力を引き出したいと思う。「子供たちを来させなさい。わたしのところに来るのを妨げてはならない。天の国はこのような者たちのものである。」(マタイによる福音書第19章14節)このような保育園でありたいと願っている。(まにわ いさお・東豊中聖ミカエル教会信徒)



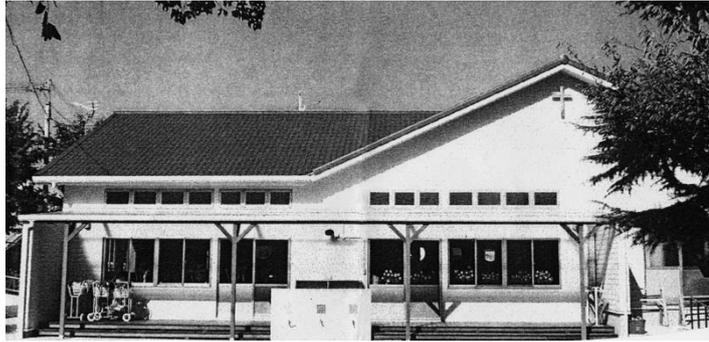
京都教区との協働を目指して 聖職と教会紹介 10

司祭 ヨブ 楠本 良招

開設していますが、1953年に「初島幼稚園」となり、現在に至っています。

教会創立76年、幼稚園開始71年、教会と幼稚園の幼児教育を通して、地域の宣教に携わってきました。

初島聖十字教会は、1936年に加茂谷基督教会（加茂郷）において、創立者堀井治一郎司祭により開拓伝道されました。1941年、現在の初島に移り、教会の基礎となりました。1941年に保育園「愛郷学園・子供の家」を



「教区間協働」は、大阪や

京都近辺の諸教会の思いがありますが、教会の大小や距離

司祭 サムエル 小林 宏治

聖十字教会牧師、廣基督教会管理牧師)

の遠近を乗り越えていくこと、「教区合併」は信徒、教役者が伝道区を乗り越えお互いに語り合う積み重ねが大切と私は思っています。

わたしは、この3月末まで、京都教区の司祭として、橋本基督教会、笠田基督教会、五條聖三一教会の牧師に任命されてきました。けれども、この4月からは東京へ転勤を命じられました。7年間の3教会での教会生活は、少人数の信徒の方々と共に、和気あいあいと過ごさせていただきま

した。信徒の年齢層が高く、皆様、孫や息子のようにかわいがっていただきました。振り返るとよくわかるのですが、私の仕事が、教会の牧会というよりも、付属の施設である聖心幼稚園での働きに費やされてきたと思います。慣れない幼稚園の理事長としての経営と、園長として保育のいろ

はを覚える日々でした。人それぞれに向き不向きがありますが、私は何となく7年も幼稚園での仕事を続けられ、よき経験をさせていただいたと思います。違う面から見れば、周りの方々に大いにご迷惑をおかけし、優しい方々のご配慮があったからだと思います。皆様のご協力があればこそ過ごせた日々でした。

和歌山県と奈良県の県境にある五條、橋本、笠田の3教会は周りを山に囲まれ、その中を紀の川が流れ、とてもよい環境の中に建てられています。昔はそれぞれの教会に活力があったと思いますが、今

は、それぞれに信徒減少があり、教会の存続もままならないという現状です。けれども、だからこそ、それぞれの教会のメンバーはそれぞれの教会を大切に思い、教会を守り続けておられます。自分の教会という意識を、大きな教会のメンバー以上を持ってもらいます。また最後の時、いや今の時をだれとどのように過ごしたいかを深く考え、思っておられると思います。地域的にも都会ではなく、メンバーも少数で、高齢化という現実に向き合って生活されているからかもしれません。

（こばやし こうじ・立教学院チャプレン、橋本基督教会および笠田基督教会前牧師、五條聖三一教会前管理牧師）



前列中央が小林宏治司祭

東日本大震災「祈りと交わりの旅」に思う

主教 サムエル 大西 修

東日本大震災から1年を迎えようとしている2月18日(土)～20日(月)の2泊3日、粉雪が舞い、昼間も氷点下に近い厳冬の被災地を祈りつつ見聞する旅を大阪教区主催で行いました。22名の方々がこの旅に参加いたしました。昨年来、思い描いていた計画が、災害対策本部担当者の木村幸



活動することなど、数々の方法と手段によって、東日本の大地震、大津波、それによる原子力発電所の大惨事と放射能汚染の危機的な出来事を身近に受けとめてきました。

1年が経ったとはいえ、まだまだ先が見えない状況にある被災地に行き、自分のこの目で見、体験に耳を傾け、また、この足で大地震と大津波に襲われ、一面

荒涼とした被災地を歩くことにより東日本大震災を体験することは、「百聞は一見に如かず」のことわざを彷彿とさせるものがありました。被災地に立って一人ひとりが感じたこと、思ったことをそれぞれの教会や家庭や職場などで一人でも多くの人々に伝えていくこともとても大切な役割だと思いました。



ボランティアとして被災地に滞在してくださっている方々には、本当に感謝いたします。

「祈りと賛美」

東日本大震災1周年記念聖餐式

ヨハネ 若村 正博

昨年3月11日、人類にとって全く予期しなかった大地震が岩手、宮城、福島の3県を中心に東日本一帯を急襲した。そのことを祈念して「祈りと賛美・東日本大震災を憶えて」と題した1周年記念聖餐式が大阪教区主教座聖堂・川口基督教会で3月10日(土)午後

ます。でも、たとえボランティアとしての働きが出来なくても、被災地に行くことによつて、辛く、苦しく、寂しく、言い得ぬ悲しみの中にある方々とほんの少しでも、その思いを共有出来ればなあと祈りつつ、この旅を計画いたしました。

この旅の中で、主にあって、希望をもって歩んでおられる方々の姿に心打たれました。今回、ご都合がつかず、行くことの出来なかつた方々のために、もう一度、被災地を巡る旅を企画したいと考えています。

19日の大斎節前主日には、聖テモテ・ボランティアセンターのある小名浜聖テモテ教会で信徒の皆様と聖餐式をいたしました。牧師の越山健康司祭に説教していただきました。

まだまだこれから続く長い長い大震災復興への道のりを、主イエスが共にいてくださることを信じて、私たちに出来ることを模索しながら、東日本の人々と共に歩んで行く決意を新たにしたい旅でした。主に感謝！

2時より執り行われた。司式はサムエル大西修大阪教区主教。説教者はアンデレ中村豊神戸教区主教。「弟子たちは漁師が多く、ガリラヤ湖で網を打ちつつ生活をし、また主の言葉どおりすぐに実行しての日常生活。隣人への伝道、(次頁4段目につづく)



鈴木隆太さん (中央) とオルガニストたち

鈴木隆太氏の「礼拝音楽を学ぶ」に参加して

サラ 富川 絵里子

2月26日(日)午後2時より川口基督教会にて、鈴木隆太氏の礼拝音楽講習会が行われました。

オルガンを囲み、オルガンの弾き方を具体的に教えてもらうという私の想像とは異なり、オルガニストとしての心

得を学ぶことができた貴重な機会となりました。

聖歌集改訂の裏話や、古今聖歌集と聖歌集との違い、聖歌と讃美歌の違いなど、時にみんなで聖歌を歌いながら、とても楽しくお話をしてくださいました。

なかでも、歌う人がどう歌いたいか検証することが大切であるということ、ただし、聖歌は神様への捧げものであり、歌う人が気持ちよく歌うためのものではない、ということ聞き、オルガニストとして一番忘れてはならないことだと感じました。また、オルガニストが礼拝での奏楽奉仕を行う上で大事なものは、リハーサル(準備)であるということ、神様が喜んでくださる礼拝にするための奉仕をいかにするかが大切であり、オルガニストの大きな役割であるということを教えていただきました。

司祭、信徒との信頼関係を築き、司祭を音楽面でサポートする、そのためにオルガニストは経験を積み、練習し、知識を習得し、向上心を持つことが大切であるとも話されました。

最後に、鈴木氏の奏楽で夕の礼拝(唱詠晩禱)を共にし、この場に参加できたことに感謝しました。私自身、今日のお話を心に留め、練習を重ねていきたいと思っています。参加者は44名でした。(とみかわ えりこ・大阪聖ヨハネ教会信徒)

(前頁よりつづく)
救済、祈りによる治癒、悩みの相談、健康や家族との在り方等を通して福音を伝える。教会は使命と応答を」と会衆にメッセージを送られた。

そして、賛美にルツ濱崎高子姉を迎えて奉献礼拝。「思いやりの心そなえ」「主よ、ささげます」の2曲。主に属する私たちの心の祈りを詩歌に託し、賛美の歌声がパイプオルガンの楽の音と共に大聖堂いっぱい満たされた。室内で祈りを捧げる私たちに、これから先の信仰生活のあり

方に方向指示が与えられた。聖歌はメッセージを楽譜化し、縮小して私たちに伝えられているロゴス(神様の言葉)である。主の裁きはいつくるかと問われれば、すでに来ていると感じる人もいる。大震災の苦難を見た私はノアの箱舟を思いつつ歩みたい。頌栄主の感謝し奉る。当日の出席者137名、席上献金141,007円が救援募金として献げられた。感謝です。(わかむら まさひろ・石橋聖トマス教会信徒)

ペンテコステ ヴィジル 第6回 聖霊降臨日 前夜の礼拝



日時: 2012年5月26日(土) 17時~18時

場所: **サクラファミリア** (カトリック大阪梅田教会)
地下鉄御堂筋線「中津」駅4番出口より徒歩2分。
阪急「梅田」駅茶屋町口より徒歩4分。
Tel. 06-6225-8871

- 司式: 松浦 悟郎 司教 (カトリック大阪大司教区)
- 補式: 内田 望 司祭 (日本聖公会)
- 井上 隆晶 牧師 (日本基督教団)
- 松本 義宣 牧師 (日本福音ルーテル教会)
- 説教: 大西 修 主教 (日本聖公会)
- 主催 聖霊降臨日 前夜礼拝 実行委員会
- 後援 大阪キリスト教連合会

大阪教区 「東日本大震災第1次救援募金」

(募集期間: 2012年3月31日まで)

55,513,896 円 (3月30日現在)

(目標: 50,000,000 円)

*各教会で祈りとともに献げられた、大阪教区の献金総額は上記の通りです。

ウィリアムス神学館特別出張講座 第2期
教会奉仕者のための学び

新約聖書入門を受講して

ヤコブ 小出 裕司

講師の京都教区司祭・黒田裕先生はこの「新約聖書入門」では、新約聖書に関する基礎的な学びを通して、私達が霊的・信仰的に養われることを

目的とし、サブタイトルを「新約聖書のプロフィール」として今を生きる私達の霊的・信仰的な課題を探っていければと記されています。



第1回目新約聖書のプロフィール、第2回目新約時代のプロフィール、第3回目から6回目まで四福音書と関連文書のプロフィール、第7回目からパウロ書簡のプロフィールで終了しました。この講座に於いて、受講生の素朴な質問にも笑顔で真摯に回答される先生の姿に感動しました。新約聖書「入門」はもう理解しているという思いでしたが、この講座を受け基礎的なことさえ、何も理解していなかったことを知らされました。第1回の講義テキストに記載されている、キリスト者としての成長に向かう「道」のイメージ「我々がこれまでに述べて来た成長とは、道に迷

新たにされるのは、キリスト者や教会の生活には、常にについて回ることである。従って、成長とは、進歩することと、

うこともなくひたすらに向かう進歩と考えられてはならない、「失敗し、悔い改め、再び

苦難、葛藤、停滞を通して学ぶ可能性の両方を含んでいるのである。」(1998ランベス会議、教理・司牧問題・報告 §101)と記載されているが、これからも聖書のみ言葉を積極的に学んでいきたいと思えます。(こいで ゆうじ・大阪聖アソシエーション教会信徒)

第2回 聖公会生野センター 体験学習会 報告

セシリヤ 松原 恵美子



参加者に語りかける玄由美さん

3月3日(土)、聖公会生野センター大阪教区後援会主催の体験学習会を行い、24名の参加がありました。城南キリスト教会で開会礼拝をした後、生野センター主事呉光現氏の案内で生野の町を歩きました。土曜日の鶴橋商店街もコリアタウン(御幸森商店街)も、地元の人ではないであ

ろう人たちにぎわっていました。コリアタウンでは買い物時間をとり、各自でお店をのぞきました。お店も以前と変わり、チャンクソクのポスターがドーンと張られている韓流スターのグッズを売るお店や韓国コスメのお店は、若いお客さんであふれ、東方神起や少女時代などKポップが流れていました。コリアタウンからは徒歩組とバス組に分かれて生野センターに行き、そこで玄由美さんという東京生まれの在日3世で、結婚されて生野に来られた方のお話を聞きました。玄さんは現在「サラバン」という訪問看護サービスをされています。玄さんは在日が点在している地域の中で自分は何者なのかという意識をもつことの難しさ、それが朝鮮の歴史、言語を学ぶ中で解明し、朝鮮人として生きていきたいという気持ちに変わっていったこと、大阪の夜間中学校で学ぶ1世のハルモニ(おばあさん)たちとの出会いから「学ぶ人から学ぶ」大切さについてお話ししてくださいました。今回(次頁最下段目につづく)

特別寄稿

正面玄関から入れないなんて、
やっぱり何かが間違っている。

パウロ 牧口 一二一

見てきてくれ！”と騒いでいるのに出くわした。そう、どの通路も6〜7段が

ボクたち障害者にとって、大阪の玄関口といえるJR大阪駅の南口正面玄関は長い間、車いすのままでは改札口に行けず、東口や西口に回ってかから戻らなければ正面改札には辿り着けなかった。そうこうするうちに東口の改札を入ったところに各路線のホームへ上がるエレベーターが設置されて、ボクは正面玄関を利用することが少なくなり、ほとんど東口から入ってエレベーターを利用して電車に乗るようになった。

昨年の秋、やっと新しい大阪駅がオープンした。それ以前、ときどきホームに上がった折に「よくぞ電車の運行を止めることなく、こんなに大規模な工事ができるものだ」と感服しながら工事の完了をたのしみにしてきた。完成した新しい大阪駅は、「大阪駅が、まぢ」になる」

とのキャッチフレーズのもと10数本並ぶホームの駅機能部分を真ん中に、南側に、従来から大丸デパートがあるアクティ大阪ビルを再整備し増築した「サウスゲートビル（27階建）」、北側に、三越伊勢丹デパート、ファッション、レストラン、オフィスなどが入り、映画館まである「ノースゲートビル（28階建）」、この二つが駅を挟み込むように聳え立つ構造になっていた。なるほど、一つの町のようにはあるが、住宅のない浮き草のような町の登場だった。

さて、ボクにとって肝心な正面玄関は……、相変わらず車いすでアプローチできない。まさか、と調べていくつかの通路を探していると、修学旅行の高校生数人と車いすの学生、教師らしき男性に車いすを押される学生が、「こっちは行けるかな？」「あつちを

で」という標示はどこにもなかった。JRは「車いすの方は東口へ」と言いたいのかも知れないが、それなら標示すべきだし、いくつかのルート

の6〜7段、その一つをスロップにすればいいだけなのに。バリアフリーが広く認識される時代になっても障害者のことは全体構想からすっぱり抜け落ちていく。

（前頁よりつづく）
の学習会の中で、呉さんも玄さんも、韓流ブームの二面性のことをおっしゃっていました。学習会を通して「コリアタウン変わったね」だけで終わらず、日韓の歴史をさらに学び、広げていく必要性を感じました。また、今後も大阪教区後援会ではこのような学習会を行いたいと考えています。

（まつばら みえこ・堺聖テモテ教会信徒）

世界の窓

○コンゴ、ボガ教区から緊急のお願い

コンゴ民主共和国のボガ教区主教ウィリアム・バヘムカ師父は、主教座から15マイル北方にあるブキリンギ地区での市民軍攻撃激化を受け、全世界に緊急支援を要請している。市民軍は政府との話し合いを求めているが、コンゴ政府は選挙結果により回答すると述べ、対応が進ま

ず両者の隔たりは埋まっていない。そのような中、市民軍は食料を求めて略奪と殺戮とレイプを続け、その魔の手は国内避難民キャンプにまで迫っている。食糧提供をすれば市民軍の攻撃を少なからず抑制できる可能性はあるが、キャンプには差し出せる食糧がない。そのためバヘムカ主教は、市民軍への食糧提供が必要不可欠であると述べ、世界にその支援を懇願している。

義捐金受付は以下の通り。
Global Mobilization Ministries, 1048 Irvine Avenue, #556 Newport Beach, CA 92660-4602
（次頁最下段目につづく）

「うちの教区には青年がない」。こんな言葉からわたしたちの活動が始まりました。2011年8月に京都で行われた日本聖公会全国青年井戸端会議にて私たちが「U26（ゆーじろー）」が発足しました。U26とはアンダー（U）26歳（26）の略で、18歳から26歳の青年グループです。大学生から社会人3年目くらいまでの年齢の青年だけで集まり、教籍はあ

るけれど教会に来ていないなど、いわゆる教会離れが多くみられる人を集め、もう一度教会で集まろう！と結成しました。その第1回の全国集会在2月に千葉県市川市少年自然の家にて行われ、全国か

特別寄稿

U26 第1回全国集会

千葉・市川に40人が集まり

「教会に行く、行かない」を話し合い

U26 副代表 ヨシュア 岩本 翔太



ら約40名の青年が集まることできました。ここではスポーツなどのレクリエーションや教区間、教区混合でのグループごとの分かち合いが行わ

れましました。今回の話し合いのテーマは「教会に行く理由、行かない理由」でした。今回の集会には毎週教会に行く青年や教会に出入りしているけ

ど未信徒の青年、教籍があるが教会に行っていない青年など、いろんな立場の青年がグループごとに意見を出し合い発表し合いました。やはり、

学業、仕事、アルバイト、サークルなどで忙しい年代の青年が必要としているのはコミュニティでした。わたしたちU26は全国的なコミュニティももちろんですが近くの教区、教区内のコミュニティも大切にしたいと考えています。その為にもまずは仲間を作ることが大切です。まだまだ

りグループですので認知度は低いと思いますが、お祈りいただけるとありがたいです。（いわもと しょうた・京都聖マリア教会信徒）

（前頁よりつづ）

なお、「Congo emergency assistance」というメモ書きが必要。

(Anglican Communion News Service: March 7, 2012)

○南アメリカ聖公会の管区再編案

南アメリカ聖公会(The Anglican Church of the Southern Cone of America)総会は管区を分割する提案を行っている。もし実現すればペルー、ポリビア、とチリの二つの教区で構成される管区と、アルゼンチン、北アルゼンチン、パラグアイおよびウルグアイで構成される管区が誕生する。この提案は総会において、ウルグアイ教区の女性主教叙階が否決されたことに端を発しており、その分裂を避けるための分割案であると理解ができる。この管区分割案について総会議事録には、管区構成の変化が、これからの2年の間に現管区の地域や共同体の枠組みの中で発展されていくものであると漸進的な表現で記され、

また、次回の会議を本年5月、ウルグアイ、モンテビデオにて開催する予定とした。

(Anglican Communion News Service: March 7, 2012)

○カンタベリー大主教、突然の辞任発表

第104代カンタベリー大主教、ローワン・ウィリアムズ博士が、今年限りで大主教を辞任する意向を表明した。ランベス宮殿から「過去十年以上をカンタベリー大主教としてご奉仕できたことは、計り知れないほどの大きな特権であった。そういう意味においても容易な決断ではなかった。残された時間内にやらなければならぬことは山積している。そのためさらなる祈りと支援をお願いしたい」という大主教の声明が出された。大主教は辞任後の2013年からケンブリッジにあるマグダレン・カレッジの学長に就任する予定。(Anglican Communion News Service: March 16, 2012)

教 区 の 動 き

常置委員会報告

2月27日(第4回定例会)

I. 主教報告

*成岡宏晃聖職候補生志願者
聖公会神学校入学試験合格
(2/13)。

*聖バルナバ病院の公益財団
法人への移行が内定。

*東日本大震災1周年の特務
と主教会メッセージについて。

II. 教務局長報告

*「納骨堂」設置許可申請に
関する件。

*教会奉仕者のための学び
(4月以降)において「旧約聖
書入門」(第2土曜)、「日本
キリスト教史」(第4土曜)、
いずれも14:00~15:30、於
大阪聖パウロ教会。

*菟野の教区所有地(2筆)
の売却について。

III. 協議事項

*成岡宏晃聖職候補生志願者

別教役者主日奉仕一覽」を作
成。

II. 教務局長報告

*教区会後「宣教懇談会」実
施要領について報告。

*納骨堂設置許可申請につい
て現状の説明・関連する行政
書士の費用・今後の各教会で
の課題について報告。

*大阪教区「東日本大震災被
災者救済金」は当初目標の5
000万達成の目途がついた。

*教区事務所職員退職と後
任者の採用について。

I. 主教報告

3月12日(第5回定例会)

*千松・奥村・古澤各聖職候
補生の執事試験終了。不合格
科目についてはレポートを提
出するという条件で、執事按
手式を行う。4月25日(水)
福音記者聖マルコ日午前10:
30から主教座聖堂にて。

*成岡宏晃聖職候補生志願者
の聖公会神学院入学式(4/
3)。

*宗教法人格を教区に有する
大阪府下4教会の納骨堂経営
認可申請を済ませた(3/6)。

*今年度4月以降の「教役者
別主日奉仕教会一覽」「教会

III. その他報告事項

*第2回大阪教区・京都教区
の協働及び合併に関する検討
委員会(3/5)課題の実行
状況・書記局による作業の確
認等状況報告。

IV. 協議事項

*信徒奉事者推挙の件、芦屋
聖マルコ教会イサク寺内誠を
信徒奉事者として主教に推挙
した。

*人事異動に関する件・嘱託
司祭の勤務に関する件につい
て大西主教より別表にて出さ
れた案を承認した。

*千松・奥村・古澤聖職候補
生執事按手式について協議。

4月25日(水)福音記者聖
マルコ日、10:30、川口基
督教会。式典長・磯司祭、説
教者候補・山野上司祭、推薦
者・岩城司祭、山本司祭、磯
司祭、および信徒代表。按手
式後お祝いの会を予定。

*教務局長より出された教区
事務所職員候補について協議
した。教区職員採用規定等の
整備も急がれる。以上

祝受洗

大阪聖パウロ教会
ウイリアムス 松井 優
(2月15日)

聖ミカエル教会

パウロ 吉田 牧人
(3月11日)

川口基督教会

ソフィア 種実
セシリア 岡崎 裕美
マリア 中村 美木
アンジェラ 北川真由美
(3月18日)

祝受按

聖ルシヤ教会

イサク 尾崎彦四郎
リベカ 尾崎 静子
(1月8日)

聖ミカエル教会

パウロ 吉田 牧人
(3月11日)

川口基督教会

ウイリアムス 岡崎 誠
セシリア 岡崎 裕美
マリア 中村 美木
アンジェラ 北川真由美
(3月18日)

魂の平安を 祈ります

聖贖主教会

デボラ 藤森 佳子
(1月19日・73歳)

芦屋聖マルコ教会

ルツ 中村幽香子
(2月6日・93歳)
大宮 愛子
(3月19日・97歳)

公 示

救主降生2012年3月22日
日本聖公会大阪教区
教区会議長 主教 サムエル 大西 修

主のみこころならば、聖職按手式を下記のとおり執行します。
諸教会における代祷、及び主にある兄弟姉妹のご臨証をお願いいたします。

執事按手 志願者 聖職候補生 クリストファー 奥村 貴充
聖職候補生 ジョイ 千松 清美
聖職候補生 ヨハネ 古澤 秀利

記

- ◇日 時 救主降生 2012年4月25日(水/福音記者聖マルコ日)
午前10時30分(9時45分から「朝の礼拝」開始)
※祭色は「赤」を用います。
- ◇式 場 大阪教区主教座聖堂(川口基督教会)
大阪市西区川口1-3-8 電話 06-6581-5061
- ◇司式者 主教 サムエル 大西 修
- ◇説教者 司祭 ダニエル 山野上素充
- ◇式典長 司祭 アンデレ 磯 晴久

大阪聖パウロ教会

ウイリアムス (2月15日・18歳) 松井 優

西宮聖ペテロ教会

マルタ (3月8日・86歳) 原 清子

川口基督教会

ユニケ (3月1日・83歳) 大方 せつ

ルデヤ (3月11日・89歳) 北川きよ子

教会・施設の動き

芦屋聖マルコ教会・愛光幼稚園
○創立100周年、愛光幼稚園創立90周年記念講演会が2月25日(土)午後、芦屋のルナ・ホールで開催された。第1部は愛光幼稚園保護者の

会のコラスと園児の歌、教会学校の生徒たちも加わ

口の基督教会信徒)

ポール学院中・高等学校
○3月11日(日) 桃谷駅前商店街にて「ポール・相馬つながるプロジェクト」として、福島県相馬市の小中学生のための街頭募金活動を行った。

桃山学院大学

○聖救主礼拝堂では、4月21日(土)午後2時から第106回チャペルコンサートが開催される。今回は、関西を代表するソプラノ歌手山下悦子氏とオルガニスト中山幾美子氏をお招きする。暖かな春の音楽に包まれる午後のひとときを一緒に。入場無料。

大阪聖ヨハネ教会

ヨハネ学園・各施設

○4月8日(日) イースター礼拝・祝会后、日曜学校イースター祝会・ボーリング大会をヨハネ学園児童を招待して行う。5月27日(日) 聖霊降臨日) 午後2時よりオルガンコンサートを開催する。演奏者:辻彩乃さん(川

○下田部保育園(3月10日(土)に卒園式が行われた。29人の園児が卒園した。4月より小学生に。

○児童養護施設ヨハネ学園(3月10日(土)に卒園お祝い会が行われた。7名が卒園した。4月からそれぞれの進路を歩む。

教区関係教役者
逝去者記念聖餐式

◇ 5月9日 (水) 午前 11 時
於：主教座聖堂 (川口基督教会)
説教者 ペテロ 竹林 徑一司祭

司 祭 米村 健治 (1979.5.15)
伝道師 小幡 久能 (1961.5.24)
司 祭 アーネスト・ゴードン・ハッチンソン (1973.5.29 英)
宣教師 メーベル・C・バックス (1984.5.30 英)

◇ 6月13日 (水) 午前 11 時
於：主教座聖堂 (川口基督教会)
説教者 サムエル 坪井 克巳主教

司 祭 ロバート・マルコム・ミルマン (1945.6.3 加)
司 祭 オーガスチン 芦澤 光雄 (2002.6.4)
司 祭 チャールズ・フレデリック・ワレン (1899.6.8 英)
司 祭 ウイリアム・ペンジェリー・バンコンブ (1942.6.10 英)
司 祭 ジョージ・テンプシー (1960.6.11 英)
司 祭 ダニエル 植村 信久 (1980.6.13)
司 祭 ステパノ 橋本 節 (1996.6.15)
司 祭 アーウィン・ヘンリー・コレル (1926.6.16 米)
伝道師 マルタ 榎内 晰子 (1946.6.18)
司 祭 ベニヤミン 東 信行 (1943.6.19)
司 祭 牧岡 鉄弥 (1919.6.20)
司 祭 ルイス・パーキンソン・ヒル (1943.6.22 英)
宣教師 エディス・メアリー・バーナウ (1944.6.29 英)
主 教 横田 道信 (1946.6.29)
宣教師 アリス・マリアン・コックス (1949.6.29 英)
司 祭 ヨハネ 荒木 久雄 (1988.6.30)
司 祭 パウロ 水谷 博彦 (2008.6.30)

*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前 11 時から、
主教座聖堂 (川口基督教会) で行われます。ご関係の有
無にかかわらず、どうぞ自由にご参加ください。

* 4月はずすでにお知らせの通り、4月 11 日 (水) です。

* 2月19日発行の教区報第4

お詫びと訂正

(誤) 主催：大阪教区宣教師部
礼拝音楽委員会

(誤) 協力会
⑥付録1頁(教区委員会便覧)
下から9行目、

※「他に交渉中の候補者がい
る(後日、発表)」は削除する。

②7頁「祈りと賛美」の告
せん。(追記)
③8頁「祈りと賛美」の告
せん。(追記)
④11頁「通夜の祈り」
⑤12頁「通夜の祈り」
⑥付録1頁(教区委員会便覧)
下から9行目、

(正) 主催：大阪教区宣教師
礼拝・音楽委員会
③8頁 3段11行目
(誤) 「いっしょに歩こうプロ
ジェクト」
(正) 「いっしょに歩こう! プ
ロジェクト」
(誤) 「通夜の祈り」
(正) 「通夜の祈り」
(誤) 「通夜の祈り」
④11頁 逝去の囲み 3行目
(誤) 「通夜の祈り」
(正) 「通夜の祈り」
⑤12頁 1段13行目
(誤) 協力会
⑥付録1頁(教区委員会便覧)
下から9行目、

⑦付録2頁(教区委員会便覧)
下から5行目、
在日韓国・朝鮮人宣教協働
委員会の箇所
※「他に交渉中の候補者がい
る(後日、発表)」は削除する。

○ミス・ブール記念ホーム..
3月24日(土) 小規模特養
竣工記念礼拝が地域生活支
援センター光で行われた。

23号に、上記の訂正が判
明いたしました。謹んでお
詫びし訂正いたします。

(正) 主催：大阪教区宣教師
礼拝・音楽委員会
③8頁 3段11行目
(誤) 「いっしょに歩こうプロ
ジェクト」
(正) 「いっしょに歩こう! プ
ロジェクト」
(誤) 「通夜の祈り」
(正) 「通夜の祈り」
(誤) 「通夜の祈り」
④11頁 逝去の囲み 3行目
(誤) 「通夜の祈り」
(正) 「通夜の祈り」
⑤12頁 1段13行目
(誤) 協力会
⑥付録1頁(教区委員会便覧)
下から9行目、

〈次号発行予定〉
6月3日 三位一体主日・聖霊降臨後第1主日

編集後記

イースターおめでとうござ
います! 春を待ちわびる日々
が続いています。

先般、教区報作成費用の軽
減について、財務委員会との
間で検討が進められました。

1年間6回発行という現状を
背景とする当教区報の、教区
動静の全体像を伝える情報量
の豊かさや紙面の質の高さを
評価されました。一方で、印
刷経費の削減や編集工程の改
善についての指摘を受けまし
た。掲載記事の絞り込みによ
る頁数の削減やレイアウト作
業の見直しなど出来るところ
から改善に取り組んでまいり
ます。

共に愛される教区報をめざ
して、広報
委員一同真
摯に編集に
取り組んで
まいります。
ご支援くだ
さい。



公 示

救主降生2012年3月18日
日本聖公会大阪教区主教
主教 サムエル 大西 修

- 司祭 テモテ 内田 望 去る2月2日付の辞令を取り消し、下記の辞令を発令する。
2012年4月1日付で、以下の人事を発令します。
- 司祭 テモテ 内田 望 川口基督教会牧師、大阪聖パウロ教会管理牧師の任を解き、堺聖テモテ教会牧師、聖ルシヤ教会牧師に任命する。
- 司祭 ダニエル 山野上素充 主教サムエル大西修のもと守口復活教会において、囑託司祭として勤務することを委嘱する。ただし、日本聖公会法規に基づき、任期を1年間とする。
- 主教 ヤコブ 宇野 徹 司祭アンデレ磯晴久のもと東豊中聖ミカエル教会で、司祭ヨシュア原田光雄のもと大阪城南キリスト教会及び聖ガブリエル教会で、囑託司祭として主日を中心に勤務することを委嘱する。ただし、日本聖公会法規に基づき、任期を1年間とする。
- 司祭 ペテロ 松山 龍二 司祭ヨシュア原田光雄のもと聖ガブリエル教会及び大阪城南キリスト教会で、司祭ペテロ齊藤壹のもと大阪聖三一教会で、囑託司祭として主日を中心に勤務することを委嘱する。ただし、日本聖公会法規に基づき、任期を1年間とする。
- 司祭 サムエル 松岡 虔一 主教サムエル大西修のもと富田林聖アグネス教会で、司祭ヨシュア原田光雄のもと聖ルカ教会で、囑託司祭として主日を中心に勤務することを委嘱する。ただし、日本聖公会法規に基づき、任期を1年間とする。
- 司祭 サムエル 坪井 克己 司祭アンデレ磯晴久のもと庄内キリスト教会で、司祭ペテロ岩城聰のもと大阪聖パウロ教会で、司祭ペテロ齊藤壹のもと大阪聖三一教会で、囑託司祭として主日を中心に勤務することを委嘱する。ただし、日本聖公会法規に基づき、任期を1年間とする。
- 司祭 ヨハネ 成田 邦雄 司祭アンデレ磯晴久のもと庄内キリスト教会で、司祭施洗者ヨハネ山本眞のもと芦屋聖マルコ教会及び西宮聖ペテロ教会で、囑託司祭として主日を中心に勤務することを委嘱する。ただし、日本聖公会法規に基づき、任期を1年間とする。
- 司祭 サムエル 福田 光宏 主教サムエル大西修のもと聖贖主教会で、司祭ペテロ岩城聰のもと川口基督教会で、司祭ペテロ齊藤壹のもと大阪聖愛教会で、司祭施洗者ヨハネ山本眞のもと西宮聖ペテロ教会で、囑託司祭として主日を中心に勤務することを委嘱する。ただし、日本聖公会法規に基づき、任期を1年間とする。
- 司祭 ヨハネ 奥 康功 司祭フランシス チョウ・ジョンピルのもと恵我之荘聖マタイ教会で、司祭テモテ内田望のもと聖ルシヤ教会及び堺聖テモテ教会で、囑託司祭として主日を中心に勤務することを委嘱する。ただし、日本聖公会法規に基づき、任期を1年間とする。
- 司祭 ウィリアムス 竹内 信義 司祭ペテロ齊藤壹のもと大阪聖愛教会で、主教サムエル大西修のもと聖贖主教会で、囑託司祭として主日を中心に勤務することを委嘱する。ただし、日本聖公会法規に基づき、任期を1年間とする。要請に基づき、主教サムエル大西修のもとプール学院チャプレンに任命する(大学勤務)。ただし、日本聖公会法規に基づき、任期を1年間とする。
- 司祭 ヨハネ 木村 幸夫 司祭ヨシュア原田光雄のもと大阪城南キリスト教会で、主教サムエル大西修のもと高槻聖マリヤ教会で、囑託司祭として主日を中心に勤務することを委嘱する。ただし、日本聖公会法規に基づき、任期を1年間とする。